

研修名 食育 アレルギー対応

平成30年8月1日(水) 13:30~16:00

講演 「食育の理解と計画及び評価」

「食育のための環境(多職種との協働)」

講師 国立大学法人上越教育大学大学院 野口 孝則 氏

1 講演要旨

① 食育の理解と計画及び評価

- 食育の理解
- ・生きる上での基本 豊かな人間性を育む
 - ・食育の目標「5つの子ども像」保育の内容など
- 食育の計画
- ・保育所における食事の提供の具体的な在り方
 - ・食育年間計画の作成の留意点
- 食育の評価
- ・保育所における食事の提供ガイドラインでは10項目について5段階評価を推進している
 - ・その評価を踏まえて計画を改善する

② 食育のための環境

第3次食育推進基本計画に基づく保育所における食育の推進に社会環境づくりが重要であること

2 感想

子どもたちに対応する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、豊かな人間性を育てていく基礎となることを痛感し、保育所での全職員の共通理解のもとに計画的に、また、総合的に展開する必要があると感じた。

また、食育のための環境については、健全な食生活を送ることが困難な子どもの存在にも配慮することや、食事の提供に際しては食べ物を無駄にせずロスを削減し、そして多様な食文化も継承していきたいと感じた。その為には食育に係る関係者が連携した取り組みが重要だと思った。



(記録 榎島ひいらぎ保育園 廣久 雅子)